

令和元年度第2回幕別町次世代育成支援対策地域協議会会議録

- 1 日時
令和元年9月25日（水）18：53～
- 2 場所
幕別町役場 2階2A-B会議室
- 3 出席した委員 14人
荒木委員、伊澤委員、遠藤委員、岡田委員、喜多委員、神津委員、杉山委員、高橋委員、嶽山委員、千葉委員、西川委員、前川委員、松井委員、横山委員、渡部委員
- 4 欠席した委員 1人
松井委員
- 5 町出席者 8人
事務局：合田住民福祉部長、西田こども課長、林保健福祉課長、田村こども支援係長、菅原保育係長、平井福祉係長、傳法主任、佐々木主事
- 6 託児 1人
- 7 配布資料
資料1：無償化イメージ
資料2：幕別町子ども・子育て支援事業計画（平成27年度～平成31年度評価シート）
資料3：第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画に係る「量の見込み」と「確保対策」について
資料4：第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画の構成及び骨子（案）について
別紙：子ども・子育て支援事業計画の体系比較
別紙：地域別の量の見込み
- 8 内容
 - (1) 開会
こども課長より、欠席委員について報告。
 - (2) 会長挨拶
 - (3) 議事【進行：千葉会長】
 - ① 無償化イメージについて（資料1）
幼児教育・保育無償化について、事務局（菅原係長）から資料に沿って説明。
・無償化の対象となるのは、3歳以上の子どもまたは0歳から2歳で非課税世帯の子ども。
 - ② 幕別町子ども・子育て支援事業計画（平成27年度～平成31年度評価シート）（資料2）
幕別町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況及び評価について、事務局（田村係長）から資料に沿って説明。
・実施に至っていない事業は、事業No. 1「認定こども園整備事業」、No. 2「保育環境整備事業」、No. 12「幼稚園における在園児を対象とした預かり保育」、No. 20「実費徴収に係る補足給付を行う事業」、No. 66「企業と連携した子育て支援の推進」の5事業である。これらの事業については、次期計画にも再度盛り込む予定である。

【質疑・意見】

委員：教育において、発達支援センターとの関わりは非常に重要である。

幕別町は発達支援に関して手厚く行っており、支援センターにも足を運びやすい環境となっている。今後もより一層充実した施設になってほしい。

委員：評価シート中のNo. 56、発達支援センターについて。達成状況の評価で、拡大を示す「◎」が平成28年度から続いているが、これは事業が拡大し続けているということなのか。

事務局：これまで小学生の療育は対象ではなかったが、平成30年度からの施行期間を経て、平成31年度から小学2年生まで対象年齢を引き上げている。

③ 第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画に係る「量の見込み」と「確保対策」について（資料3）

資料に沿って事務局（田村係長）から説明。

・人口推計については、前回の会議の意見を踏まえ、平成27年から平成31年の住民基本台帳の人口から算出した。（前回は国勢調査の人口から算出）

・量の見込みについて、ニーズ調査で無しとなっていた事業でも実際には利用者が存在する場合、事業実績を基に量の見込みを算出している。

④ 第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画の構成及び骨子（案）について（資料4）

子ども・子育て支援事業計画の作成に関する基本的な事項等を、資料に沿って事務局（田村係長）から説明。

【質疑・意見】

委員：子どもの貧困対策の推進について、北海道の具体的な対策は現段階で何か示されているか。計画を策定するにあたっての方向性をイメージしたい。

事務局：北海道の計画については現段階では不透明であるが、計画の方向性としては、現行制度を列記しながら貧困対策に結びつく事業を示し、さらに新たな支援策等があれば計画に盛り込むつもりである。

基本理念及び基本目標については、次回会議の際に事務局案を提示し、委員の意見をいただきたい。

(4) その他

○事務局

・次回の会議日程については会長と相談の上決定し、委員の皆様ご案内する。

19：56閉会